

# 日本経済新聞 何でもランキング 地サイダー部門 トップ3を友樹開発商品が独占！

# 友樹 ODM 通信

第01号  
発行所  
友樹飲料  
オリジナル商品企画課

## 地サイダー何でもランキング

2017年5月13日(土)、日本経済新聞内 NIKKEI プラス1 地サイダー特集の中でスワンサイダーが見事3位に輝き、10選中4品が友樹飲料開発商品という好評価を頂いた。ランキング審査の方法は地サイダーに詳しい専門家に寄せができて地域らしさがある23品を選出。試飲して地域性を味に生かしている・清涼感・デザインなどの観点で順を付けてもらい、集計した。

「スワンサイダー」とは、昭和のサイダー全盛期の味を昔ながらの製法にこだわり、復刻したサイダー。薄いブルーの瓶に昭和初期から使い始めたスワンのロゴを復活させたラベルは「色のトーンや文字の書き方といったレトロ感が魅力的」と審査員の方々より高評価を頂いた。  
(スワンサイダー定価200円(税別)330ml/24本入り)



**3位** スワンサイダー  
昔ながらの正統派(佐賀県小城市)  
昭和のサイダー全盛期の味を、昔ながらの製法にこだわり復刻した。グラニュー糖を使い炭酸を強く含むんだ味わいは「昔飲んだサイダーを思い出す正統派の味」(下田昌江さん)。「ご当地」を感じた完成された印象(林律子さん)  
創業は明治35年(1902年)。薄いブルーの瓶に、昭和初期から使い始めた「スワン」のロゴを復活させたラベルは「色のトーンや文字の書き方といったレトロ感が魅力的」(里井さん)。  
① 330ml ¥275  
② 756円(3本) ③ 友樹飲料、http://www.tomomasu.co.jp/shop/



他にも、1位のグリーンマースソーダ(沖縄県 伊江島物産センター)・2位の金柑サイダー(鹿児島県 薩摩酒造)はともに友樹飲料で製造しているODM商品であり、商品開発数日本一(年間150品以上)を掲げている友樹飲料にとって、追い風となる嬉しいニュースであった。

### スワンサイダー12本ギフト



←金柑サイダー(薩摩酒造・245ml)



グリーンマースソーダ(伊江島・200ml)→



### オリジナル商品紹介

「neo X スターフライヤー」  
neoプレミアムカクテル3本セット

2017年5月1日 航空会社 株式会社スターフライヤーにて、neoプレミアムカクテル3本セット(定価1500円)が発売された。機内販売の商品として、機内誌にも掲載されている。

### neoプレミアムカクテルセット↓



### 【編集後記】

スワンサイダーのスワンマークについて、日本経済新聞の担当者より「なぜ、白鳥なのか」と質問を受けた。これは平和の象徴を示すためにスワン(白鳥)を使用したこと由来している。

第二次世界大戦終了後、2代目の友田軍平が戦争から戻り事業を再開したころ、平和の象徴を示すスワンを使用したスワンサイダー(瓶入り炭酸飲料)を作ったことがきっかけだと回答したが残念ながら記事には掲載されなかった。ここで伝えることにした。

本来、平和の象徴といえ、鳩であるが白鳥の方がデザイン的にも可愛かったから、というのには可哀なだけのウラ話である。(稲田・ODM営業担当)

3種類のneo商品  
(neoプレミアム ジンジャーエール・neoミックスベリー・neoシトラスネード 各95ml)は生姜や果実をベースにハーブやスパイスを使って複雑かつ深みのある味わいに仕上げた。